

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.178

環境保全課 ☎ (29) 5100

もったいないを意識して食品ロスを減らそう



必要な量を考え食材を購入することも食品ロスを減らす取り組みの1つ

日本では年間に約570万トンもの食品ロスが発生しており、その内の約45%が家庭から出ています。これは国民1人当たりが年間で45キログラムのコメを捨てている計算になり、大変もったいないことです。今回は食品ロスの削減につながる方法を紹介します。

●3キリ運動の実践

3キリ運動とは「使い切り・食べ切り・水切り」の3つの「切り」を総称したものです。食材は少量ずつ計画的に購入して使い切り、残さず食べて、最後に生ごみはしっかり水を切って捨てることで、食品ロスを減らすことができます。

●子ども食堂で活用

子ども食堂では地域の子供たちに無料で昼食支援と遊びの場を提供しています。使われる食材の多くは、個人や企業からの寄付で賄われています。畑で作り過ぎた野菜や家庭で食べ切れずに余ったコメやレトルト食品などがあれば、子ども食堂で使ってもらうのも食品ロス削減につながります。

市内の子ども食堂

○とりでこども食堂（平田・川下地区）
☎ (35) 6509

○老いも若きもゆうあい子ども食堂（由宇地区） ☎ (63) 3022

○おひさまカフェ（玖珂地区）
☎ 090 (5089) 5980

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎ (31) 5304

環境事業所 ☎ (31) 7710

総合支所

家電4品目の処理方法

エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の家電4品目は「家電リサイクル法」に沿って処分することとされており、定期収集に出したり市の処理施設へ持ち込んだりすることはできません。次のいずれかの方法で正しく処理してください。

- ①購入した販売店に引き取りを依頼する
 - ②一般廃棄物収集運搬業許可業者に依頼する
- ※①②ともに収集運搬料金、リサイクル料金が必要

- ③郵便局でリサイクル料金を支払い、自分で指定引取場所（日本通運㈱大竹支店岩国営業課 新港町3丁目13-16）へ持ち込む
- 詳しくは市ホームページや「ごみ収集カレンダー」の21ページを確認してください。



家電回収を業者に依頼するときには

高額な料金請求や不法投棄の恐れがあるため、無許可の回収業者には依頼しないでください。



家電4品目を正しくリサイクルしましょう